

伝道弟子:最も重要な献身(わな、壁、落とし穴)-システム(隠れた伝道)	70人:一つのチーム	ミッションホーム:隠された問題-答え
<p>* 序論-サタン ▲私たちに最も重要な献身は何だろうか。 1)わな-いま個人は、ほとんどわなに関わっている。 2)壁-教会は未自立になるしかないシステム、壁になっている。 3)落とし穴-それでは、どんな落とし穴に陥っているのか。これを発見しなければならぬ。そうすれば、とてもやさしい。この部分に対する献身が一番最初になければならぬ。献身だ。 ▲序論-サタンのわな 1)教会は未自立のわなに陥る 2)個人のわな-だめな答えがない、わなに陥る。 3)霊的わな-霊的問題のわなに関わっている。 4)教権のわな(教団不信仰) 5)経済のわな(貧困-献金をしたくてもできない) ▲みなさんがこういう部分を悟って、この部分をたたき壊して、切ってしまう主役になりなさい。自分にも見つけて、相手にもこの部分を手助けしなければならぬ。</p> <p>1私のわな-“私”というわな、これが本当に怖いのだ。 1)創世記3章、6章、11章が全部“私”というわなだ。いまは、みなさんを通して教会を生かして、人を生かして、本当に答えを受ける開始にならないといけない。 2)山上の垂訓-“私”という私にあるわなを脱いでしまうのだ。 3)マタイ13章-目に見えないこと、霊的なこと、隠れた問題を言う。 4)マタイ16章-わたしのことをだれだというのか。あなたは生ける神の御子キリストですと告白する。そのとき、とても大きなこと3つを約束されたのだ。(マタイ16:17-19) 5)使徒1:1-8、キリストが復活しておっしゃられた。 ▲生活-21種類、9つのポイント、マタイ28章、マルコ16章、使徒1:8。 21種類は、簡単に話せばこれで刻印、根、体質をおろすことだ。そして、私たちは偏見で話さずに、9つのポイントを見なさい。そして、マタイ28章すべての国の人々、マルコ16章万民、使徒1:8地の果てを見なさい</p> <p>2私たちのわな ▲みなさんが、出会いを通して、またわなにかかると。 1)出エジプトの出会い-モーセ、イテロ、ヨシュア、カレブ、ラハブという人何人が会って、出エジプトのみわざが起きた。 2)出ペリシテの出会い-サムエルとダビデが会ったが、どんなことが行われたのか。出ペリシテの出会いだ。 3)出アラムの出会い-エリヤとエリシャ、みなさんのようなオバデヤが会ったが、神様は彼を通して最も強い軍隊、出アラムの働きを起こされた。 4)出バビロンの出会い-何人かだ。この人たちが、私たちというわなを脱いでしまって、神様の驚くべき働きを見るようになったのだ。 5)使徒29-31、この人たちを見なさい。みなさんがこの祝福を受ける主役だ。</p> <p>3現場のわな-イエス様が神の国の事を40日説明された。 1)IIコリント4:4-5ヨハネ16:11-13(サタン)-世の中の支配者、世の神 2)使徒1:3(御国)-みなさんに与えられた最後の使命は、みなさん行く所に神の国が臨むことだと約束された。 3)使徒1:8(証人)-それゆえ、みなさんに力を与えて証人になると約束された。とても素晴らしいことなのだ。</p> <p>* 結論 1)ヨセフ-4代目で味わう答え 2)モーセ-400年ぶりに回復する答えだ。 3)ダビデ-14代(士師時代)ぶりに味わう答え 4)イザヤ-800年ぶりに 5)ペテロの告白-700年ぶりに起きたことだ。 6)1500年-ルターが1500年ぶりに話したのだ。ただイエス信仰で救われるのだ。それゆえ、この福音を私が恥としない。この福音は神様の力となるのだ。 7)その後の500年-キリストでなくとも救いがあるという統合宗教が登場 ▲このとき、神様は伝道者を呼ばれるのだ。</p>	<p>* 序論 ▲今、事実は世界教会に危機がきている。それゆえ、私たちは伝道という主題で集まらなければならぬ。私たちが大変なことはできなくても、神様が願われることを持つていなければならない。それゆえ、今、神様と疎通できる一つのチームだけあってかまわぬ。神様が本当に望みの一つのチームだけ持つても教会を生かせる。 ▲今、何を置いて私たちが祈らなければならぬのか。</p> <p>1.教会危機から回復 1)未自立(システム) ▲一から十までだめなシステムになっている。だめなシステムを見つけて、良いシステムに変えなさいということだ。みなさん何人かが決断を下さなければならぬ。私が行って生かすという決心をしななければならない。 2)既存教会 ▲私たちは、はやく教会危機から回復される祈りを始めなければならぬ。 (1)牧会者(職業化) (2)重職者(ポジション化) (3)聖徒(各々思うとおりに、個人化) (4)みことば-教理化(私の耳に合う話だけ聞) (5)伝道(教勢化) (6)宣教(教団化) (7)教会(商業化) ▲この根がどこから出たのか。パリサイ教会から出た。(選民思想、イスラエルの神様、イスラエルのメシヤ) 3)後進国教会 (1)他のこと-ほとんど福音なしで他のことをしている。 (2)伝道を知らない-教役者がほとんど全部だ。 (3)行事-ほとんど集まって、おもに行事を行う。行事をして、来る人々に献金するようにしないで手助けする行事を行う。 ▲私たちが正しい福音運動、伝道運動をするのは、災いを防ぐとても重要な理由になったりもする。</p> <p>2.正しい教会回復(時刻表) ▲本当に正しい教会を回復するならば、神様のすべての時刻表が臨む。 1)使徒1:1-14、カルバリの丘、オリブ山、マルコの屋上の間だ。 2)使徒2:1-47、このようにして初代教会が開始されたのだ。教会が回復されたのだ。 3)使徒3:1-28:31(使徒1:8の成就-神様のみことばがそのまま成就されたのだ) ▲みなさんが、この契約を握っていなければならない。そしてチームを構成して祈りなさい。</p> <p>3.正しい神報回復(暗やみの文化)-経済 ▲正しい神報回復は、すべての経済を回復するのだ。教会を回復したら、教会堂回復をしなさい。暗やみ文化を防ぐ暗やみ文化を変える、とても重要な役割をする。 1)モーセの幕屋運動-すべての真理を説明して一時に暗やみ文化を変える幕屋運動を、モーセを通して神様がなさったのだ。 2)ダビデの神報運動 3)多民族神殿-初代教会を通して神様が構想されたことは何か。多民族神殿だ。これが、これから初代教会から与えられたメッセージで、私たちが握らなければならないメッセージだ。多民族がきて信仰生活できる神殿を作りなさい。神報は、そのときからみなさんの経済の責任を負われるのではなく、世界化せられるのだ。</p> <p>* 結論-危機のときの献身 ▲重職者の方たちの一番良い時刻表がいつなのか。ヨケベデ、イテロ、ラハブ、オバデヤ、使徒1:14、使徒11:19、ローマ16章-この人々の共通点がある。いつ献身をしたかだ。危機のとき。危機には、必ず神様の重要な計画がある。初代教会の重職者は危機のとき、献身をした。</p>	<p>* 序論-宗教団体(3団体、カトリック) ▲みなさんが隠された問題を見てこそ、隠された答えを受ける。簡単に話せば何か。宗教団体の人々が、およそ5つのことをしている。 1)奉仕活動(ドネーション、donation)-教理化、庶民化、エリート参加 2)戦略-自分たちがしているすべてを土着化、文化化、宗教化をさせているから抜け出せない。 3)方法-福祉企業(救済活動)、社会企業(社会の奉仕)、文化企業(音楽、芸術)、NGO(国際交流) ▲このようなことは、全部、目に見えない戦略でみなり込んでいる。 4)中高(大学)-人材(メンター) ▲そうしながら、すでに優れた人材には、中等高等学校の時から訪ねてくる。訪ねてきて、その子たちを導く作戦を実行する。そして、その人材にすばらしい人をメンターとして付ける。だから、みんなそこに入ってしまうのだ。サタンの助けではなくては、このようになれない。 ▲さらに残念なのは、教会と教団は全く知らずに関心もない。 5)有名人(瞑想)-成功した有名人に有名人を送るのだ。それで、いやすのに瞑想をする。 ▲ところで教会は、今月の家賃を出せなくて途方に暮れている状況だ。 ▲本論-霊的問題+精神病+麻薬 そこで、みなさんを呼ばれた理由は、心配なくてよいのは、この人たちがら出てくる霊的問題は絶対解決できない。さらに恐ろしいのは、霊的問題が激しくなって、とても精神病がたかさん起きる。そして、ここで極度に増えるのが麻薬だ。こういう状況なのに、みなさんが今から少しだけ考えなければならぬ。</p> <p>1.まことの福祉-霊的状態-福音(残った者、レムナント) ▲このとき、私たちは序論の福祉をするのではなく、まことの福祉をするのだ。まことの福祉をする理由の中の一つが、この人たちは、とても霊的にはダウンしている。霊的状態はとも良くないのだ。チャンスだ。それで、私たちは結局は何をするのか。 1)散らされ者 2)隠された者 3)捨てられた者 4)旅人 ▲この人々を探して正確な福音を話すのがまことの福祉だ。</p> <p>2.まことのNGO(Healing) 1)12の問題の中でずっと困難がくる。 2)3つのいやしをするのだ-肉体のいやし、精神のいやし、霊的いやし。これがまことのNGOだ。 3)根のいやし (1)先進国は多くにことを持っている。手助けしながら征服している。 (2)後進国は持っていることがなくて、必要なことが多い。それで、助けを受けながら征服されている。 (3)その中間にある国、中進国は、両側の流れに乗りながら行き来している。 ▲だから、こういう部分をヒーリングしなさい。みなさんだけがける。</p> <p>3.まことの文化の働き 1)使徒1:1,3,8(刻印) ▲今まで悪くなった文化で刻印されているから、これで刻印を変えようというのだ。使徒1:1,3,8だ。刻印されたことだけ変えれば、根、体質は付いてくるのだ。 2)使徒13章、16章、19章の文化を変えるのだ。 3)会堂(使徒17:1、使徒18:4、使徒19:8)講堂、偶像神殿の前で→文化をひっくり返すのだ。</p> <p>* 結論-3つの時間を持ちなさい 1)ミッション時間-定刻 2)サミット時間-24時 3)証人の時間-25時 ▲この三つを少しずつレムナント見て言ってあげなさい。5分でも持ちなさい。今日のメッセージをみなさんの教会に帰って、毎日、毎日、答えを味わう証人になるようにイエス様の御名で祈ります。</p>